単為結果性ミニトマト

CFネネ

食味よい！
葉かび病に強い！

公益財団法人　園芸植物育種研究所

食味よく，葉かび病に強い単為結果するミニトマト．

ミニトマト　**CFネ　ネ**　特性と栽培ポイント

品種特性

- 単為結果性で自然に着果するので，マルハナバチは必要ない．
- 果実は赤色球形，12～18g 果肉は粘質多汁で食味がよい．
- 標準糖度（Brix）は 8.0～9.0 である．
- 中葉で葉幅，節間，草勢は普通．
- 葉かび病（*cf9*），ToMV（$Tm2^a$型）に抵抗性．

栽培のポイント

■ **標準施肥量**（関東ローム土耕栽培）

N＝10～12　P＝30～40　K＝15～20
Ca＝50～60　（成分量 kg／10a）　堆肥 3 t /10a

■ **定植適期の苗**

抑制栽培で第一花房の蕾が米粒大に確認できる苗．
促成，半促成，早熟，雨よけ栽培で第一花房が 3～5 開花の苗．

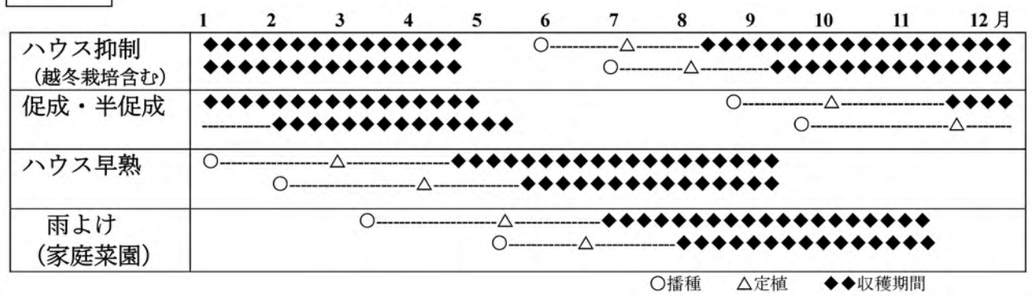
■ **摘果**

果数が多い果房は 30～40 果くらいに摘果すると肥大，揃いがよい．

■ **接ぎ木栽培の注意**

台木使用の際は ToMV 抵抗性遺伝子が Tm2 または $Tm2^a$型を保持した品種を使用する．青枯れ病発生圃場はトマト台木「健　助」が最適．

作型図



公益財団法人 **園芸植物育種研究所**　〒270-2221　千葉県松戸市紙敷 2-5-1
TEL. 047-387-3827　FAX. 047-386-1455